

2015年7月14日

報道関係各社 御中

一般社団法人日本機械学会

2015年度「機械遺産」7件が決まる！

一般社団法人日本機械学会（会長：小豆畑 茂（株）日立製作所 フェロー）は、日本国内に現存する歴史的に意義のある「機械遺産」を選定し、8月7日「機械の日」に認定いたします。

機械遺産の認定は、2007年に本会創立110周年を記念して発足した事業で、これまで69件を認定し、今年で9回目となります。応募・推薦があった候補の中から厳正なる審査の上、下記7件の認定を決定いたしました。

なお、認定式は2015年8月7日（金）「機械の日・機械週間」記念行事（トヨタ産業技術記念館：名古屋市西区則武新町）に於いて行われます。

■2015年度「機械遺産」認定一覧

【】内は遺産所在地

- | | | |
|------|--|-------|
| 第70号 | 鉄道跳開橋「末広橋梁」 | 【三重県】 |
| 第71号 | 自動包餡機 「105型」－世界の食文化を陰で支える－ | 【栃木県】 |
| 第72号 | 「ミカサ」のオートマチック・トランスミッション
－日本のAT車ここにはじまる－ | 【東京都】 |
| 第73号 | 国産初の硬貨計数機 | 【兵庫県】 |
| 第74号 | 小林式定置木炭ガス機関
－燃料不足を支えた元祖バイオマスエンジン－ | 【広島県】 |
| 第75号 | 小型貫流式ボイラー「ZP型」 | 【愛媛県】 |
| 第76号 | 全電気式産業用ロボット「MOTOMAN-L10」 | 【福岡県】 |

「機械遺産」について

日本機械学会は、日本国内の機械技術面で歴史的意義のある「機械遺産」(Mechanical Engineering Heritage)を認定することで、文化遺産として大切に保存し、次世代に伝承するために本会110周年を記念して本事業を創立致しました。認定対象は原則として①Site(歴史的景観を構成する機械遺産)②Landmark(機械を含む象徴的な建造物・構造物)③Collection(保存・収集された機械)④Documents(歴史的意義のある機械関連文書類)の4分野の機械遺産。会員から応募・推薦のあった候補について、本会の技術と社会部門「機械遺産委員会」で選定・評価を行い、「機械遺産監修委員会」の総合評価を経て最終的に候補を絞り込み、理事会で承認されたものを「機械遺産」として認定表彰するものです。

これまでに認定された機械遺産の一覧等は、本会ホームページ <http://www.jsme.or.jp/kikaiisan/> をご覧下さい。

本ニュースリリースは解禁日時7月24日（金）午前0時を厳守願います

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
一般社団法人日本機械学会
広報情報グループ 秋山・井上
電話 (03) 5360-3503/FAX (03) 5360-3508
E-mail : akiyama@jsme.or.jp